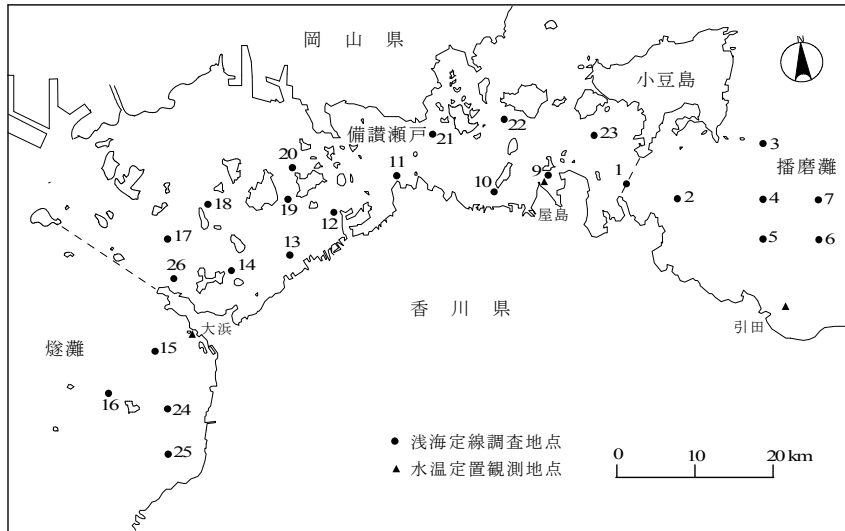


香川県漁海況情報 平成 23 年 5 月 (H23-2 号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

平成 23 年 5 月 6 日 (備讃瀬戸, 燧灘), 9 日 (播磨灘)

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「平年並み」、塩分は「かなり高め」、透明度は「平年並み」、溶存酸素は「やや低めからかなり高め」であった。

5 月

		水 温 (°C)			塩 分 (PSU)			透 明 度 (m)	溶 存 氧 素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層		表層	底層
播 磨 灘	7地点平均値	14.3	13.3	12.5	33.1	33.1	33.2	8.3	5.79	5.64
	平年値	14.1	13.2	12.1	32.2	32.3	32.4	8.4	6.06	5.43
	平年偏差	0.2	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.58	0.58
	標準偏差(σ)	0.9	0.7	0.7	0.5	0.5	0.5	2.3	0.42	0.43
	状 況	平年並み	平年並み	平年並み	かなり高め	かなり高め	かなり高め	平年並み	やや低め	平年並み
備 讃 瀬 戸	14地点平均値	14.1	14.0	13.9	33.5	33.5	33.5	5.3	5.84	5.81
	平年値	14.1	13.8	13.7	32.5	32.5	32.5	5.7	5.64	5.59
	平年偏差	0.0	0.2	0.2	1.1	1.0	1.0	-0.4	0.20	0.22
	標準偏差(σ)	0.7	0.7	0.7	0.6	0.6	0.6	1.3	0.37	0.35
	状 況	平年並み	平年並み	平年並み	かなり高め	かなり高め	かなり高め	平年並み	平年並み	やや高め
燧 灘	4地点平均値	15.0	13.3	12.9	33.5	33.7	33.7	7.5	5.96	5.79
	平年値	15.6	13.6	12.6	32.8	32.9	33.1	10.3	5.73	5.17
	平年偏差	-0.6	-0.2	0.4	0.8	0.8	0.6	-2.8	0.23	0.62
	標準偏差(σ)	1.2	0.8	0.8	0.5	0.5	0.5	2.5	0.37	0.42
	状 況	平年並み	平年並み	平年並み	かなり高め	かなり高め	かなり高め	やや低め	やや高め	かなり高め

平年偏差 = 平均値 - 平年値

平年値の算出期間

水温、塩分及び透明度：昭和 48 年 (1973) 1 月～平成 13 年 (2002) 12 月

溶 存 酸 素：昭和 48 年 (1973) 2 月～平成 13 年 (2002) 12 月

水温は、毎月 1 日の値に補正。

平年並み $0\sigma \leq \text{平年偏差} < 0.6\sigma$ (σ : 標準偏差)

やや高め (やや低め) $0.6\sigma \leq \text{平年偏差} < 1.3\sigma$

かなり高め (かなり低め) $1.3\sigma \leq \text{平年偏差} < 2.0\sigma$

著しく高め (著しく低め) $2.0\sigma \leq \text{平年偏差}$

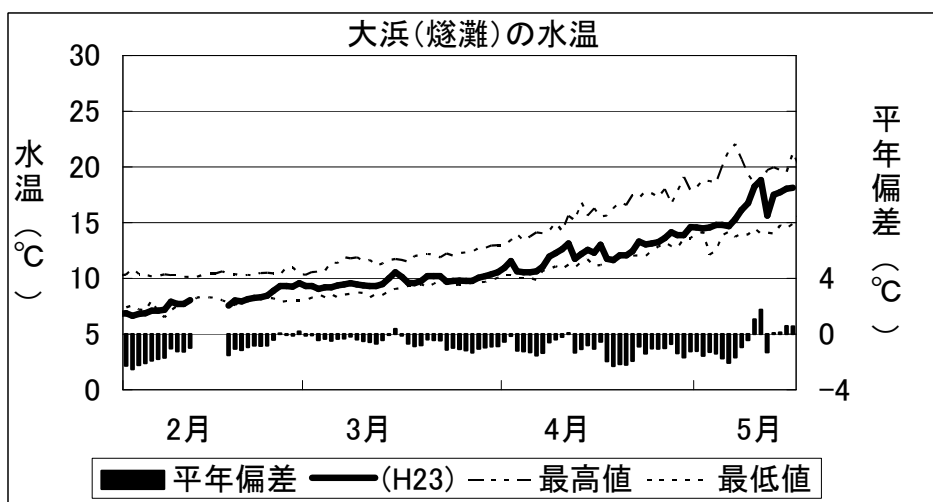
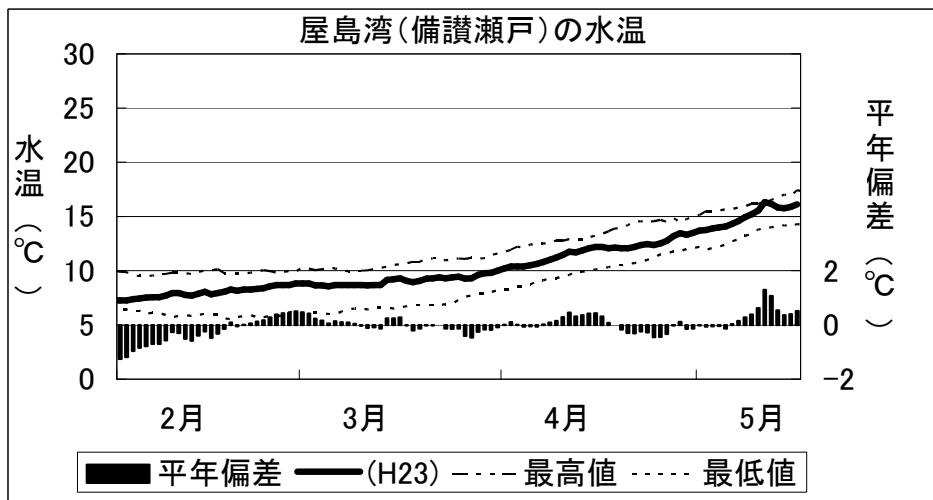
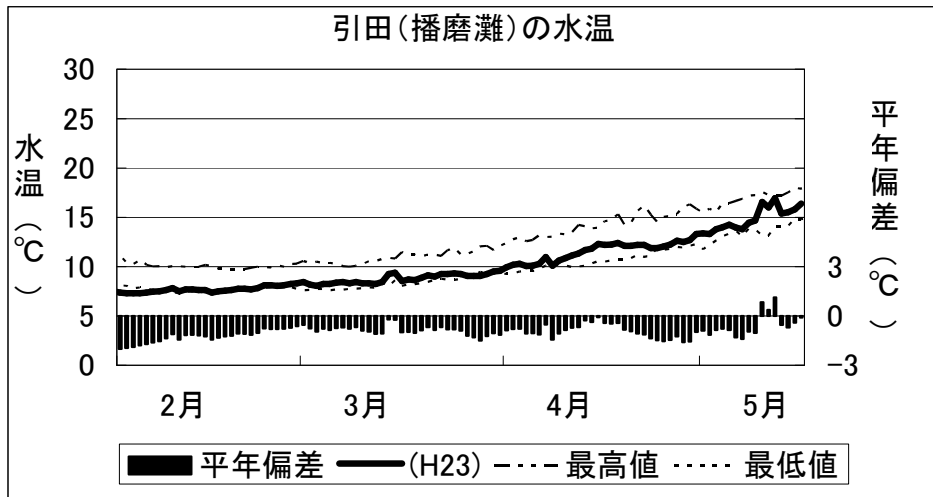
3) 定置観測 (水温)

播磨灘 (引田) : 2月からかなり低めに推移していたが、4月中旬から平年並み、5月はやや低めからやや高めで推移している。(2月上旬に7日、中旬に3日、3月下旬に4日、4月上旬に1回、過去最低値を更新。)

備讃瀬戸 (屋島) : 2月はやや低めから平年並みで推移し、以降概ね平年並みで推移している。

燧灘 (大浜) : 2月は著しく低め、3月からかなり低めで推移していたが、5月はやや低めから平年並みで推移している。(2月上旬に5日、中旬に1日、4月中旬に2日、過去最低値、5月中旬に過去最高値を更新。)

平年値の算出期間 引田及び大浜 : 平成元 (1989) ~平成 21 (2009) 年
屋島 : 昭和 50 (1975) ~平成 21 (2009) 年



4) 赤潮 (4月20日～5月19日)

播磨灘：発生なし。
 備讃瀬戸：発生なし。
 燧灘：発生なし。

5) 卵稚仔

調査日：平成23年5月6日（備讃瀬戸，燧灘），9日（播磨灘）
 出現量

ー：平年値が0の場合を示す。（その他の魚類については平年値がない。）

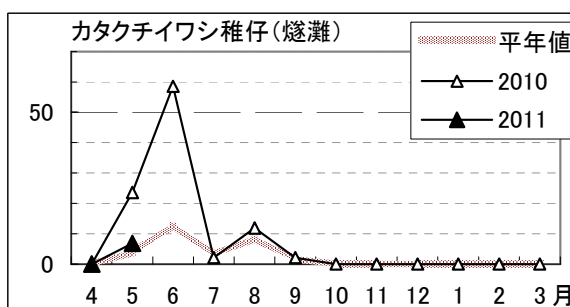
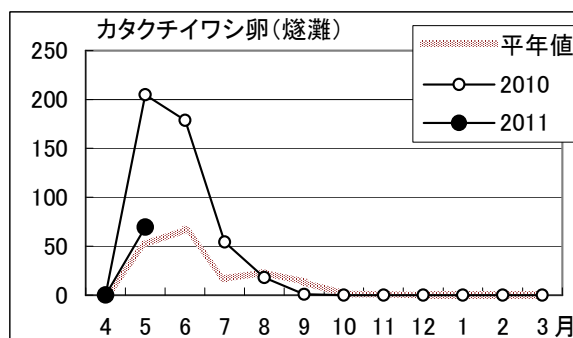
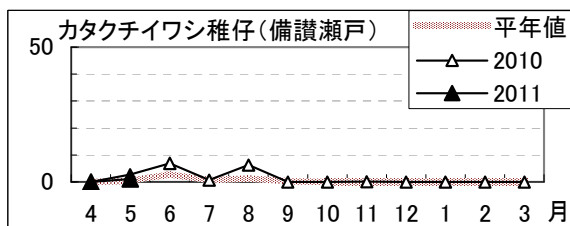
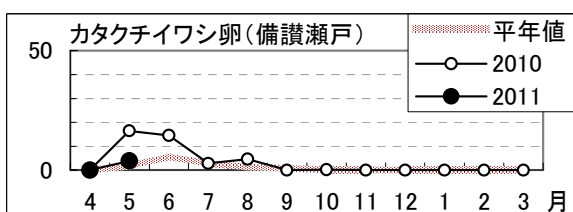
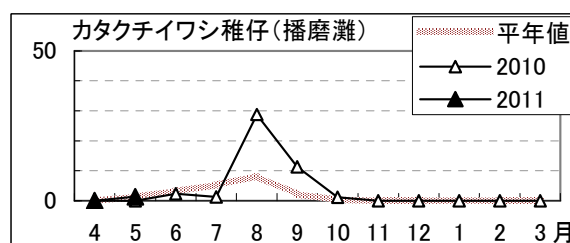
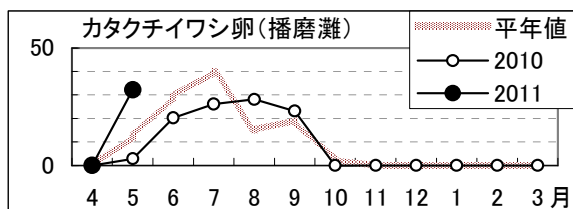
平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55（1980）年度～平成22（2010）年度

マイワシ：平成6（1994）年度～平成22（2010）年度

		カタクチイワシ		マイワシ		サワラ		その他の魚類	
		卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘	平均値	32.3	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0	1.3
	平年値	12.3	5.0	2.9	5.0				
	対平年(%)	262	28	0	0				
備讃瀬戸	平均値	3.8	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	43.6	2.6
	平年値	12.3	1.3	2.9	0.1				
	対平年(%)	31	84	0	0				
燧灘	平均値	69.3	6.9	0.0	0.0	0.0	0.0	17.3	0.1
	平年値	1.7	1.3	0.2	0.1				
	対平年(%)	4,055	542	0	0				
総平均	平均値	26.7	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	33.8	1.7
	平年値	51.6	0.4	1.1	0.2				
	対平年(%)	52	697	0	0				

マイワシの卵・稚仔は，平成14年度以降，確認されておりません。



平年値は昭和55年度から 平成22年度の平均

2. 漁況

1) 4月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	<p>底びき網では主にマダイ、シロギス、メイタガレイ、ウシノシタ類、ネズッコ類、ベイカ、小エビ類、アカニシが漁獲されており、マダイは特に好調である。</p> <p>建網では主にマダイ、メバル、カサゴが漁獲されている。</p> <p>柵網では主にマダイ、クロダイ、コノシロ、シログチ、ボラ、ウマヅラハギ、イカ類が漁獲されている。</p>
備 讃 瀬 戸	<p>底びき網では主にマダイ、クロダイ、スズキ、ヒラメ、ウシノシタ類、メイタガレイ、フグ類、アカニシが漁獲されている。</p> <p>建網では主にマダイ、クロダイ、スズキ、メバル、カサゴ、コウライアカシタビラメが漁獲されている。</p>
燧 灘	<p>底びき網では主にマダイ（小）、クロダイ、スズキ、メイタガレイ、ネズッコ類、フグ類、小エビ類が漁獲されている。</p> <p>柵網では主にマダイ、クロダイ、スズキ、ウマヅラハギが漁獲されている。マダイは好調であるがウマヅラハギは低調である。</p> <p>さより機船船びき網は漁期開始の4月は低調であったが、5月に入り150～200kg/日・統と昨年並みの漁獲となっている。</p>
香 川 県 全 域	<p>さわら流し刺し網は4月20日から操業が開始されており、県内全域で好調な漁獲が続いている。香川県魚市場における5月17日までの県内産サワラ類の取扱尾数（千尾）においても、サワラ22.3、サゴシ3.7（昨年同時期、サワラ14.6、サゴシ2.2）と好調である。</p>

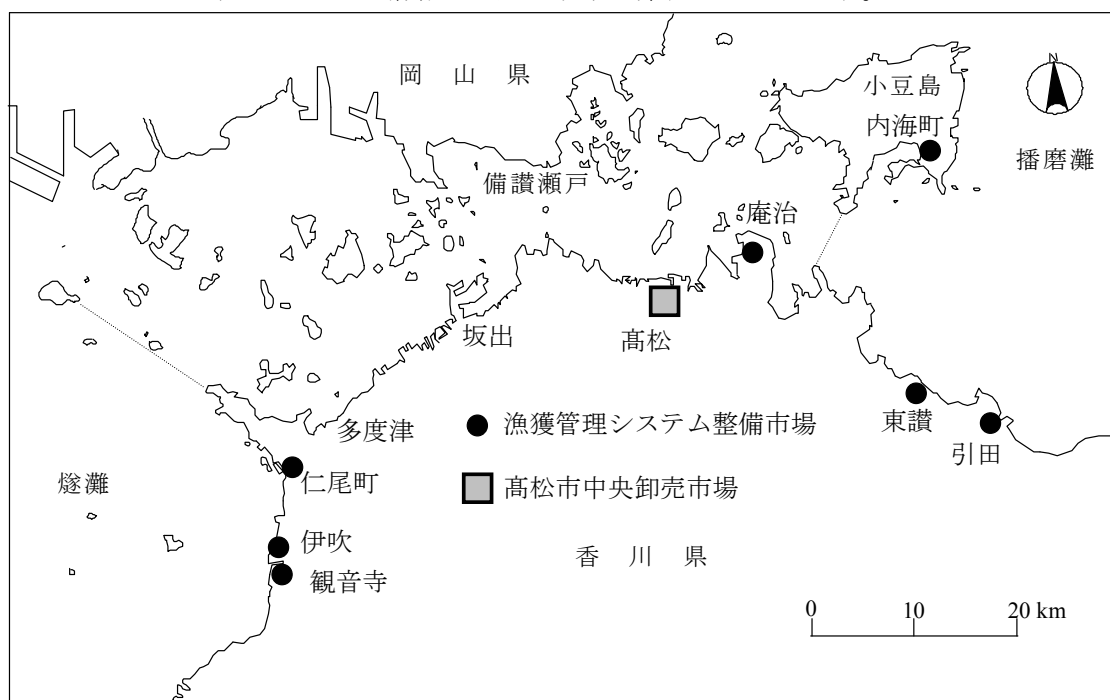
2) 香川県の漁獲情報

(1) 漁獲管理（TAC）システムデータ

日本周辺の生物資源を適切に管理保存するためのTAC(漁獲可能量)を迅速に把握することを目的とした全国システムで、本県では以下の産地市場に整備されています。

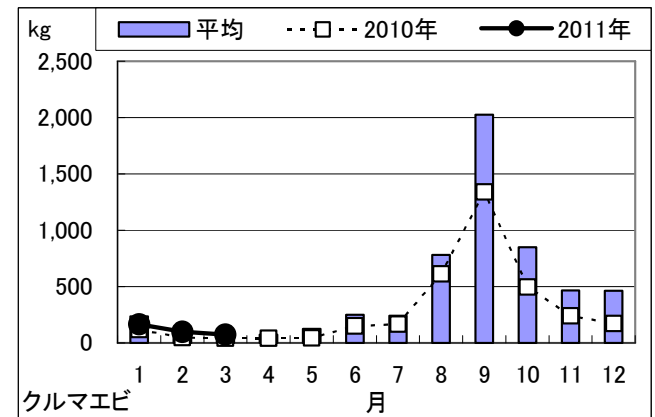
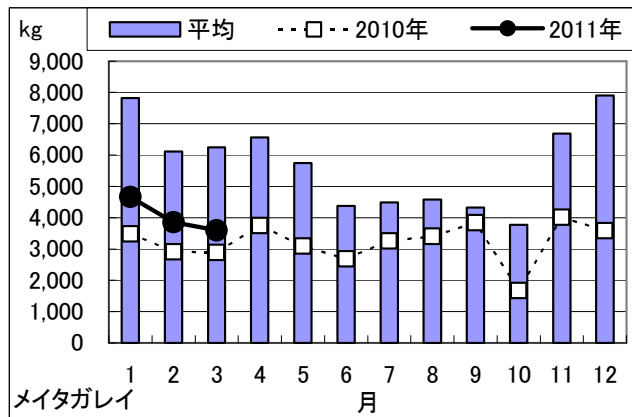
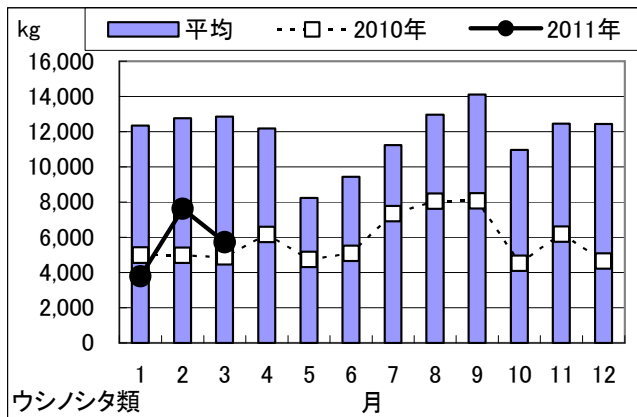
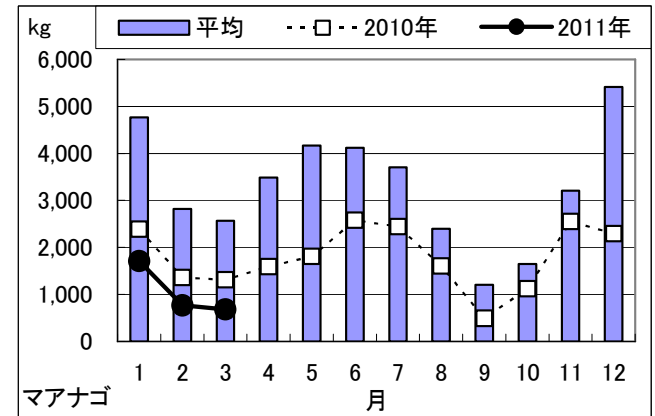
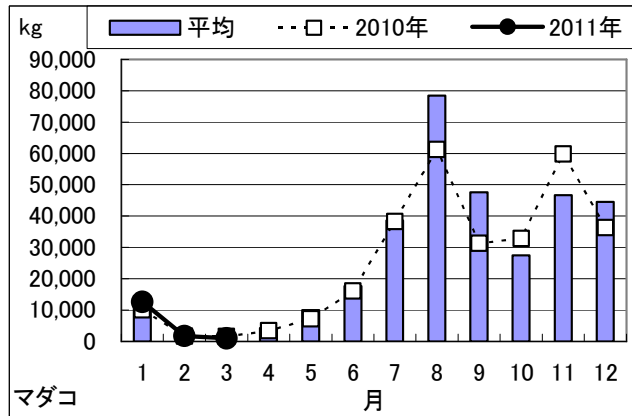
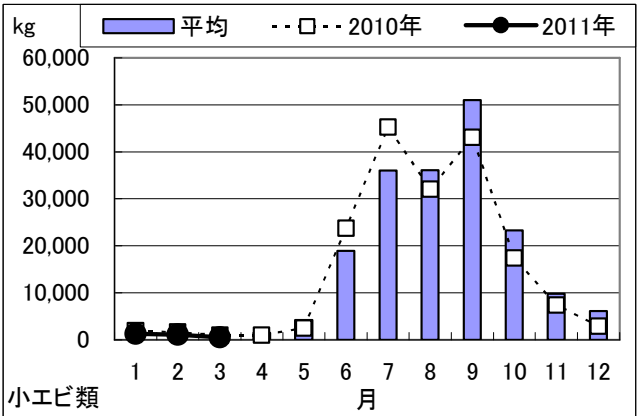
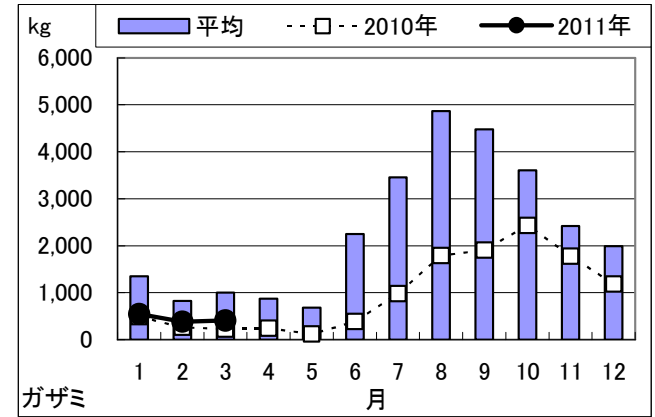
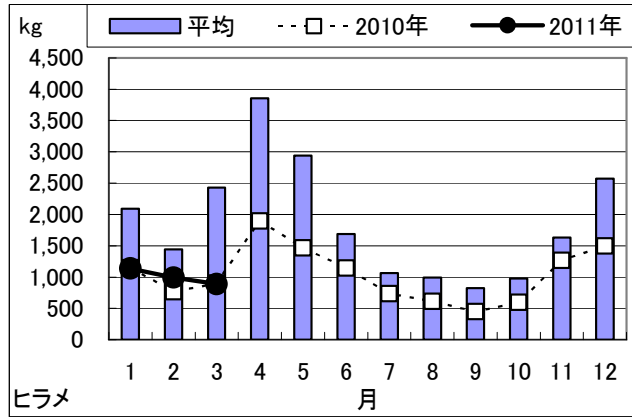
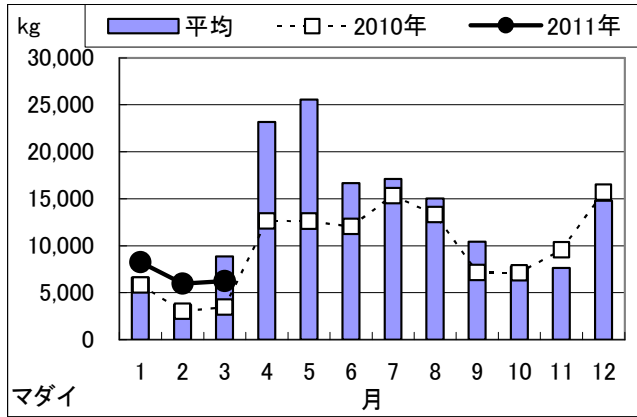
(2) 高松市中央卸売市場データ

水産物のうち生鮮水産物（香川県全体から集荷されている）について、高松市中央卸売市場のホームページで公開されている情報を水産試験場で集計したものです。



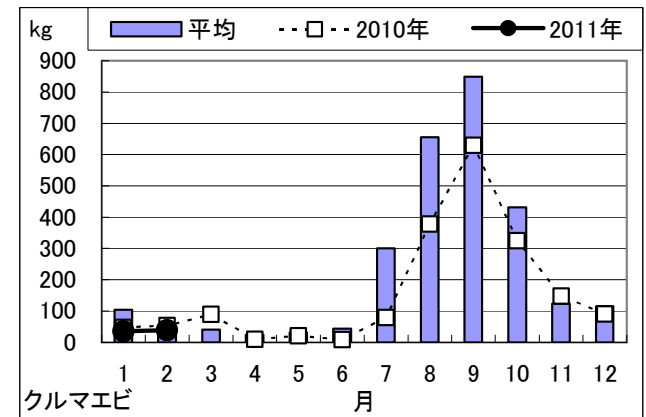
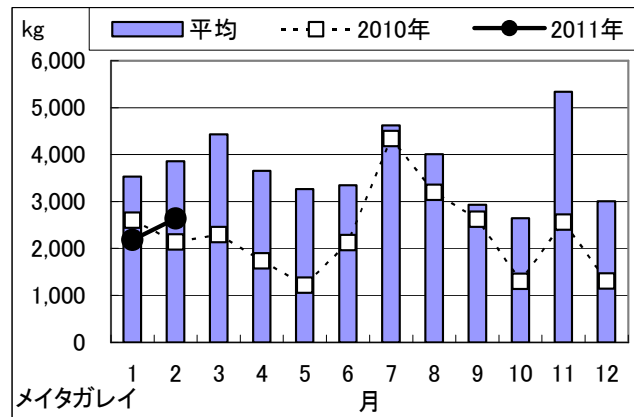
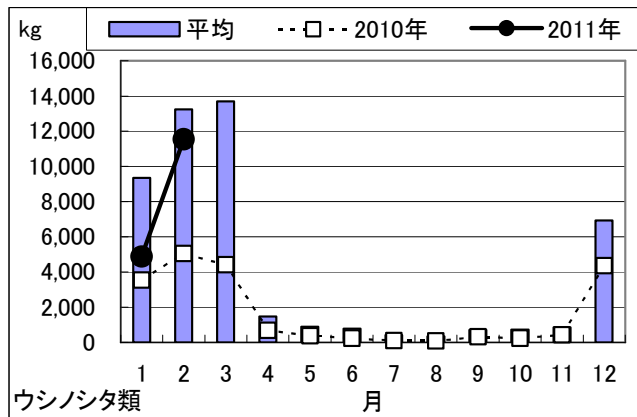
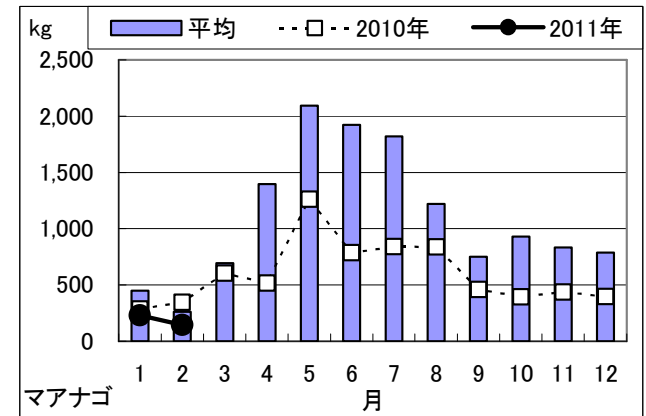
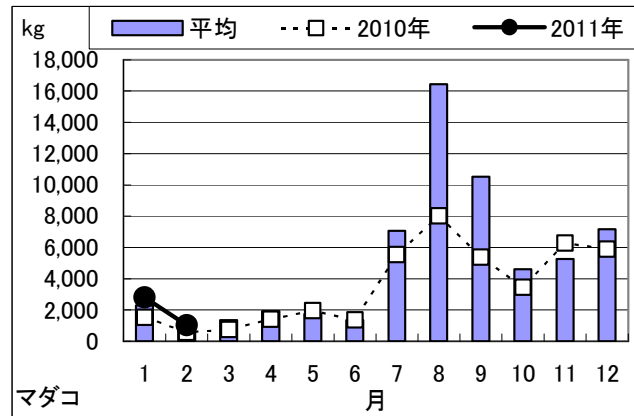
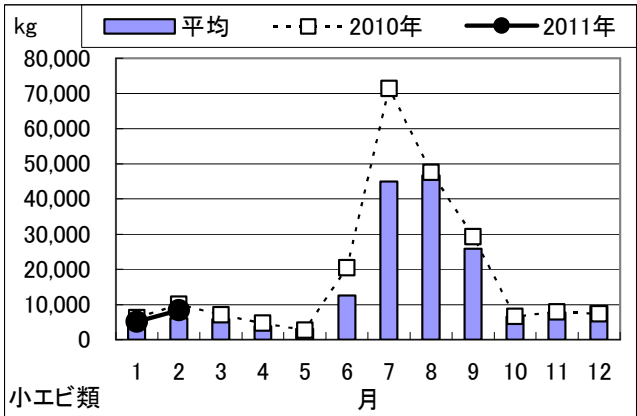
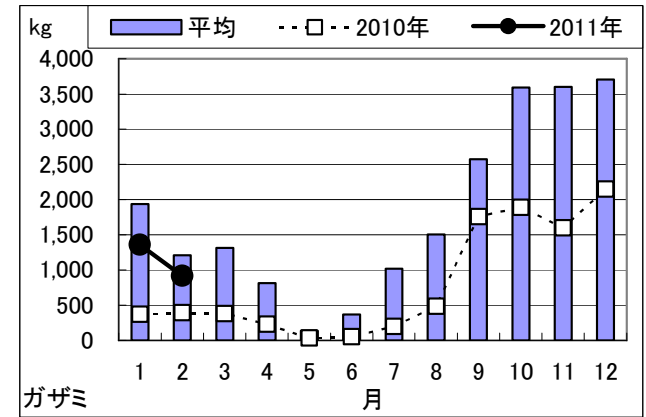
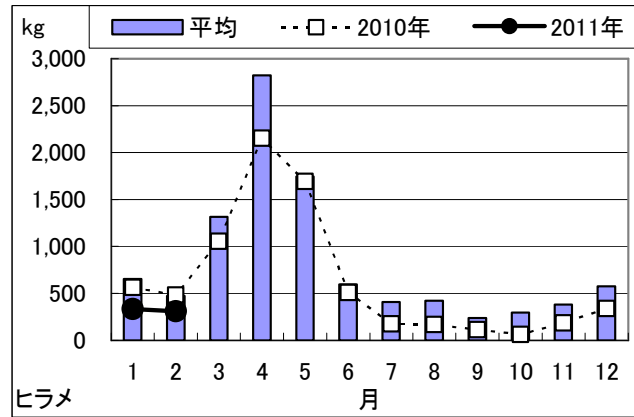
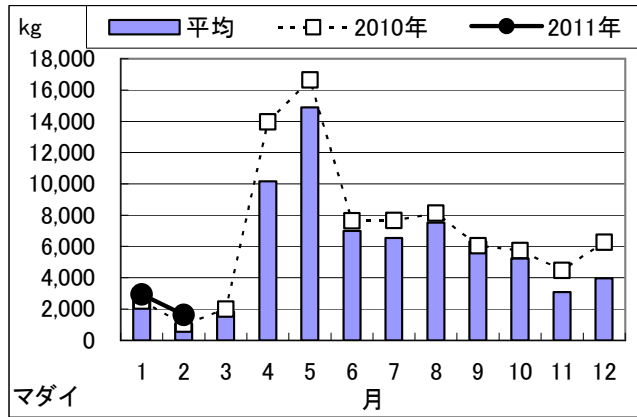
播磨灘（引田、東讃、庵治、内海町）TACデータより（4月分はデータが揃っていません。）

平均値は、2006年から2010年の5年間の平均。



釜灘（仁尾町、観音寺、伊吹）のTACデータより（3,4月分はデータが揃っていません。）

平均値は、2006年から2010年の5年間の平均。



高松市中央卸売市場データ（県内ものの鮮魚：東讃・小豆・三豊地区も含む）より （3, 4月分は速報が出ていません。）

平均値は、2006年から2010年の5年間の平均。

